

ふらべじ

Flower&Vegetable

Vol.11 1999
10.30
月夜の号

発行 北海道立 花・野菜技術センター 滝川市東滝川7 3 5 TEL (0125) 28-2800 FAX (0125) 28-2299
ホームページアドレス URL: <http://www.agri.pref.hokkaido.jp/hanayasai/center.html>



舞い降りたお月様 カリフラワー

Brassica oleracea var. botrytis L.

キャベツやブロッコリーと同じ仲間、遠い祖先はヨーロッパに自生していた原始型ケールといわれています。食用にする白い部分は花蕾（からい）といいますが、これはつぼみが発育せずに肥大して花球となったものです。

キャベツと同じように本来は冬物野菜ですが、高冷地では夏に新鮮なカリフラワーが収穫できます。栄養的にはビタミンB₁、B₂、Cが多く含まれるヘルシーな野菜であり、また古代中国の漢方や薬膳の考え方では、カリフラワーは「気を鎮め気分を発散させる」性質があるといわれています。

地上の名月「カリフラワー」、その純白無垢な花蕾は心も体も癒してくれるのですね。

公開デー

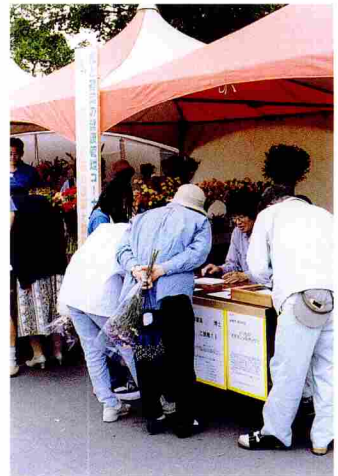
'99.9.2



野菜の展示コーナー



土壌診断コーナー



花と野菜の健康管理コーナー



フラワーアレンジメント教室

9月2日、毎年恒例の試験場公開デーを花・野菜技術センターと滝川畜産試験場との合同で開催しました。

花と野菜の種苗展、キャベツ定植機のデモンストレーション、花と野菜に関する各種相談コーナー、研究成果や研修事業に関する展示の他、フラワーアレンジメント教室、押し花教室、ホームページ閲覧等多彩な内容で、約800人の来場者で賑わいました。

143名の方からアンケートの回答を頂き、来年以降の継続を期待する声も多数寄せられました。ご来場頂いた皆さん、誠にありがとうございました。

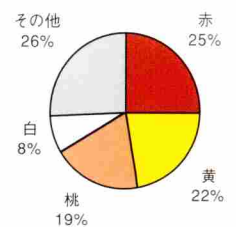
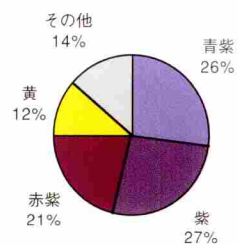
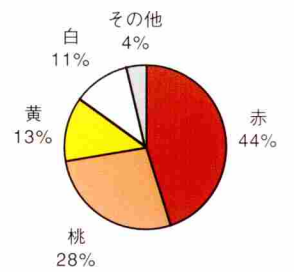
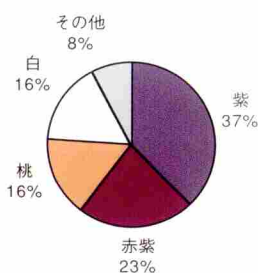
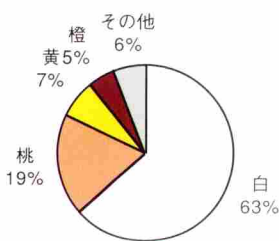
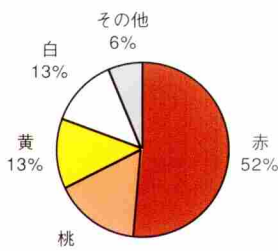
情熱の薔薇と

清純の百合???

毎年公開デーに実施している花のアンケートですが、今年は花の種類と色の関係を調べてみました。

「一番好きな色」の割合を円グラフにしましたが、それぞれ何の花だと思えますか？

正解は左側が上からバラ、ユリ、トルコギキョウ、右側が上からカーネーション、スターチス、アルストロメリアでした。性別や年齢による違いはあまりなかったようです。カーネーションはやはり母の日のイメージでしょうか。情熱の赤い薔薇、清純の白い百合は誰もが認める花のイメージと言えそうです。



アスパラガス栽培セミナー

1999.9.30

平成11年9月30日にアスパラガス栽培セミナーを開催しました。農業者、JA・市町村関係者が多数参加され、参加者総数は約130人でした。

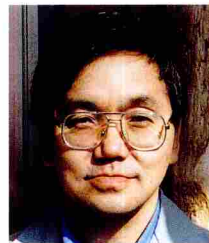
セミナーでは、道農業改良課の有村総括専技から生産概況と高生産優良事例の発表、JA



びばいの内山アスパラ生産組合長が立茎栽培の取り組み状況の発表がありました。また、当センターからは土肥特別研究員が品種特性と新栽培法について、土壌肥料科中村研究員が養分吸収から見た多収品種、新栽培法を発表しました。



新スタッフ紹介



佐藤康夫（主査（総務部総務課））

センター内の花の名前くらいは覚えるとともに、美しい花をけがさぬようリフレッシュに努めたいです。

ガンバレ！ 新農業人、ぷろふい〜る

今回は、中富良野町農協の小野圭介さんにインタビューしました。小野君は来年から営農担当職員となる将来有望な研修生です。

○まずは自己紹介からお願いします。

●函館出身、小野圭介 20歳、特技はラグビーです。自慢じゃないけど花園に行きました。もちろんレギュラーで。今年の4月から来年の3月まで花・野菜技術センターで研修をしています。ちなみに髪の色が赤いのは、燃える情熱を意味してます。

○何を研修していますか？

●野菜第一科でメロンを中心に果菜類の勉強をしています。中富良野はメロンの産地でもあるのでしっかり技術を身につけて帰りたいですね。



○一番勉強になったこと、印象に残っていることは？

●メロン栽培でよく失敗してました。でも失敗が僕にはとても勉強になったと思っています。失敗を気にせず前へ！前へ！のラグビー精神です。

○将来の目標、農業に対する夢は？

●とりあえずは、来年3月までの研修を頑張って、野菜栽培の知識を身につけること。そして中富良野の農業を今以上に活性化させること。あとは彼女が欲しいかな（笑）。

ありがとうございました。残りの研修も頑張ってください。

こんな研究してます

現在実施している病害虫試験、クリーン農業技術開発推進事業等の研究課題を紹介いたします。詳しくは担当科にお問い合わせ下さい。

病害虫試験

- (1) 園芸病害虫
 - ①ゴボウ黒条病の発生生態の解明と防除対策
 - ②主要花き病害虫の防除対策試験
(対象花木) バラ、アルストロメリア、ストック、サンダーソニア、キク、ストック、キンギョソウ
 - ③侵入害虫に対する防除対策試験
・キンケクチブトゾウムシ
 - ④ミカンキイロアザミウマの総合防除技術の確立
- (2) 農作物病害虫診断
 - ①農作物の突発性生理診断
 - ②突発及び新発病害虫防除対策

クリーン農業技術開発推進事業

- (1) 減化学肥料試験研究
 - ①環境負荷軽減を目指した園芸作物の高度肥料利用技術の確立

化学受託試験

- ①花き・野菜に対する札幌コンポストの土壌改良法と栽培法改善
- ②エダマメに対するアズスピリラム菌と根粒菌の同時接種効果の解析
・圃場条件下における同時接種効果の実証

夢の風景

彼方には残雪を抱いた北アルプスの山々、そして目の前には一面のチューリップ畑が広がっている。赤、白、黄色、紫もある。天気はいいし、夢のような光景である。通りがかった近所の人が赤いのは‘紅輝’、黄色は‘黄小町’だと教えてくれる。そんな景色の中を北海道からやってきた寝台特急が駆け抜けていく。すかさずシャッターをきる。すると今度は反対側から、スマートな車体の新型特急が疾走していく。

鉄道のある風景をここ何年か撮り続けているが、最近の傾向として草花や農作物が脇役として登場することが多い。その役者たちはというと、ミズバショウやエゾエンゴサク、ルピナス、コスモス、ナナカマド、コムギやソバ、タマネギにリンゴ等々。特にリンゴは花も実も出演する一人二役である。しかし、農作物としての「花」となるとなかなか出番がない。大体いつも無骨なパイプハウスに囲まれていることが多いので、風景の中にどうしてもなじまないのである。一体どうしたらよいものか・・・

・・・どこからとなく鳥のさえずりが聞こえ、木々の緑はすっかり夏の装いである。今日はお気に入りのポイントでの撮影。ここはスカシユリの畑だ。スカシユリは実に多彩な顔ぶれで見ていて本当に楽しい。黄色にピンク、オレンジ色。遺伝子導入によってできた青い品種もある。名前は‘ましゅう’。涼しげで夏の花にひっぱりだこである。飾ってもあちこちを汚さない花粉のできないものや香りを持つ品種‘むらさきの丘’もある。あっ、いけない。そろそろ汽車が来る時間だ。満開のユリ畑の向こうを走るのはもちろん、北海道新幹線「ほくと」である。

(花き第一科 大宮 知)

編集後記

◆畑仕事だ、遠出のドライブだ、なんていう季節から、データ整理だ、自宅で鍋パーティーだ、なんていう季節が変わりつつある今日この頃は、どうも気持ちが内向きになってしまいます。こんな季節は書店での”立ち読み”が最高のご馳走です。けれど身につくのは相変わらず廻りのヤワラカイモノだけとはこれ如何に？(R・U)

◆秋だからといって遊びまわるわけでもなく、芸術に思いを寄せるわけでもなく、これとっておいしい物を食べたわけではないけど、晩秋はなんとなく寂しい気持ちになる。ちょっとポエムな自分に乾杯。(T)

◆今号は、研修を受けていた2週間の間にすべてが終わっていた。前号とのペースの違いにちょっと驚いた。何もしくなくてすいません。(N・M)

◆東京から北海道に移り住んで10年目。毎年思うことではあるが、北海道の秋から冬への移り変わりの速さには目を見張るものがある。大好きな紅葉の風景を見るタイミングには毎年悩まされるが、今年は摩周湖、オンネトー周辺の秋の風景を堪能することが出来た。美しい北海道の自然に、感謝。(Goh)